

農林水産業従事者を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H30夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①後継問題	中山間地域では、新たに農業を始めようという人がおらず、農業をやめる人が増えているのが現状である。このことについて、市はどのように考えているのか。	農家の後継の問題は、中山間地域だけの問題ではありません。決定的な解決策は見つかりませんが、魅力ある農業を確立するため、試行錯誤を続けています。
②有害鳥獣対策	有害鳥獣対策に、グレーチングの設置を検討するとあるが、効果はあるのか。どれだけ柵を設置しても、道路や用水からの侵入は防げないので、グレーチングに効果があるのであれば、設置を検討したい。	犬やイノシシなどの動物は、グレーチングの上を通ることを嫌がる習性があります。イノシシ用のグレーチングについては、7月21日に完成予定であり、その効果について今後検証していきたいと思います。
③野菜の冷蔵施設	野菜の冷蔵施設について、JAアルプスとの調整がうまくいっていない。市が単独で冷蔵施設を持つことは不可能なのか。	野菜の冷蔵施設については、JAアルプスの組合長とも協議を続けていましたが、地元の方への説明がうまくいっていなかったことが分かりましたので、もう一度JAアルプスと話をしたいと思います。
④クルージング	先日、富山湾岸クルージングを体験したが、記念写真を撮る階段状のスペースが無くて残念だった。写真を撮れるようなスペースがあれば良いと思う。	わかりました。
⑤野菜の直売コーナー	過去に、ほたるいかミュージアムで野菜の直売コーナーを開設していたが、売れ行き・客数など様々な問題により、撤退せざるを得なかった。再度、直売コーナーを設けるとすれば、それなりに利益が出るような環境が整っていなければならないと思うが、ほたるいかミュージアム・タラソピア・アクアポケットの客数や来客の多い時間帯など、過去と変化した部分はあるのか。	北陸新幹線が開業したこともあり、ほたるいかミュージアムの来館者数は約5万3千人から6万7千人まで増加しています。利益が確実に見込めるかどうかについては、断言することはできませんが、観光客が増加すれば、購買に対する効果も上がると考えられます。この件については、改めてご相談させていただきたいと思います。
⑥大型小売店舗の出店(1)	大型小売店舗の出店に伴い、消費者ニーズが変わってくる可能性があり、小さな店舗が倒産すること考えられる。大型小売店舗がどの程度の規模で、どの程度の市場を狙っているのか教えてほしい。	沖田新地内における大型小売店舗は、10月中旬の開店を目指しており、書店・スーパー・ドラッグストア・子供用品・携帯ショップ・飲食店等の小売店舗からなる、約5,400㎡の店舗面積を予定されています。市として出店を規制することは難しいですが、新規店舗ができることで、新たな客層が増加すると考えられるので、既存の店舗の皆様についても、新たな顧客の獲得に向け消費者ニーズに順応した商業活動を展開していただきたいと思っています。

農林水産業従事者を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H30夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑦大型小売店舗の出店(2)	大型小売店舗の出店に対して、交通規制等環境の面から、要望等を出しているか。また、投資資本、営業時間、販売内容等について通告はされているのか。	関係法令に基づき、市の意見書を提出する機会があり、周辺の交通安全と防犯対策についての意見を提出しています。また、事業者を確認したところ、交通安全については、オープン時は人の出入りが多くなると予想されるため、車両の進入口に警備員等を配置するように対策を予定されています。夜間等の防犯については、駐車場に侵入できないように施錠する予定とされています。営業時間については、1番遅い店舗で午前1時閉店となっています。また、投資額につきましては、把握していません。
⑧大型小売店舗の出店(3)	今後の市内の購買状況について、環境が変わることで企業の縮小・撤退等も考えられる。市として予想はしているのか。	現段階では予想は難しいと考えています。今後、状況を注視していきたいと思います。大型店舗の出店を、強制力を持って止めることはできません。出店を利用し、協力して営業していく方法、流れてくるお客さんを捕まえる方法、様々な方法があると思います。市としても、注意はしていきますが、ご協力をお願いします。
⑨外国人	市内に外国人はどれくらいいるのか。	平成30年4月1日現在で、335人の外国人が住民登録されています。内訳としては、中国やベトナムの方が多くなっています。